

2021年4月26日

2021年4~6月期 静岡県内主要産業四半期見通し調査

回復基調は続くが コロナ第4波や半導体不足が懸念材料

静岡経済研究所（理事長 一杉逸朗）では、3月に実施した「静岡県内主要産業四半期見通し調査」の結果をとりまとめましたので、その内容をお知らせします。

現況

- 県内産業の現況（2021年1～3月期）は、『好調』の業種はなく、『順調』が「民生用電器部品」「二輪車部品」の2業種、『普通』が「食品・飲料」「工作機械」「自動車部品」「自動車販売」「情報サービス」の5業種となった。
- 『低調』は「製紙」「建設」「住宅」「大型小売店」「物流」「人材派遣」の6業種。『不調』は「観光・レジャー」「外食」の2業種となった。

今後の見通し

- 2021年4～6月期の見通しについては、引き続き『好調』の業種はないが、「工作機械」が一段階上昇して『順調』が3業種に増加する。
- 一方、「自動車部品」が一段階下降することで『普通』が3業種、『低調』は7業種となる。『不調』は2業種で変わらない見通し。
- 輸送用機器など製造業を中心に、県内経済は着実に回復してきたが、足元では、大都市圏を中心に新型コロナウイルスの変異株が急速に流行しており、第4波として全国に拡大する恐れがある。さらに主力の自動車産業で半導体不足の影響が深刻化するなど不安材料は多く、今後の経済活動への影響が懸念される。

業種	業界天気	
	現況 (1-3月)	見通し (4-6月)
製紙		→ 
食品・飲料		→ 
工作機械		→ 
民生用電器部品		→ 
自動車部品		→ 
二輪車部品		→ 
建設		→ 
住宅		→ 
大型小売店		→ 
自動車販売		→ 
物流		→ 
情報サービス		→ 
人材派遣		→ 
観光・レジャー		→ 
外食		→ 

※本件のお問合せ先 大石 彰男

回復基調続くが、コロナ第4波や半導体不足が懸念材料

業界景気の現況（2021年1～3月期）

県内産業の現況（2021年1～3月期）は、『好調』の業種はなく、『順調』が「民生用電器部品」「二輪車部品」の2業種、『普通』が「食品・飲料」「工作機械」「自動車部品」「自動車販売」「情報サービス」の5業種、『低調』が「製紙」「建設」「住宅」「大型小売店」「物流」「人材派遣」の6業種で、『不調』は「観光・レジャー」「外食」の2業種となった。

業界景気の見通し（2021年4～6月期）

4～6月期の見通しについては、引き続き『好調』の業種はないが、「工作機械」が一段階上昇して『順調』が3業種に増加する。「自動車部品」が一段階下降することで『普通』が3業種、『低調』は7業種となる。『不調』は2業種で変わらない見通し。輸送用機器など製造業を中心に、県内経済は着実に回復してきたが、足元では、大都市圏を中心に新型コロナウイルスの変異株が急速に流行しており、第4波として全国に拡大する恐れがあるほか、主力の自動車産業で半導体不足の影響が深刻化するなど不安材料は数多く、今後の経済活動への影響が懸念される。

製造業の動向をみると、換気機能を備えた製品の投入が期待される「民生用電器部品」、国内の通勤需要や北米向け大型二輪が好調な「二輪車部品」が引き続き『順調』のまま推移するほか、中国市場が好調で欧米・国内向けも回復基調にある「工作機械」が『普通』から『順調』に上昇するなど、引き続き県内経済を底支えしていく見込み。






一方、「自動車部品」では、コロナ下で半導体不足の影響が深刻化。完成車メーカーでは一部で減産が予定されており、『普通』から『低調』へ下降する見通し。これに伴い、国内販売が好調な「自動車販売」も新型車を中心に納車遅れが発生するなどの影響が生じており、『普通』のまま推移する見込み。このほか、内食需要が旺盛な「食品・飲料」、コロナ対策でIT投資への機運が底堅い「情報サービス」が引き続き『普通』のまま推移する見通し。

このほか、家庭用トイレ紙は堅調だが業務用の低迷が続く「製紙」、緊縮財政で公的投資が減少し民間工事も低調な「建設」、着工戸数自体は前年を上回るが足元の受注が弱含んでいる「住宅」、衣料品販売が伸び悩む「大型小売店」、トラックの輸送量は前年をやや上回る見込みだが、ウエートの高い輸送用機器の動向が不安材料の「物流」、製造業の派遣需要は改善傾向だが、いまだに低水準の「人材派遣」は、引き続き『低調』のまま推移する見通し。外出自粛の影響で苦境が続く「観光・レジャー」と「外食」はともに『不調』のまま推移する見込み。

2021年4～6月期 静岡県内主要産業四半期見通し調査一覧表

業 種	業 界 天 気		売 上 高 (前年同期比伸び率)	主 要 産 業 の 見 通 し
	現況 (1-3月)	見通し (4-6月)		
製 紙	 → 	→	→	トイレ紙は、家庭用は底堅いものの、業務用は低迷が続く
食 品 ・ 飲 料	 → 	→	→	肉食需要は旺盛だが、売上高は特需のあった前年をやや下回る
工 作 機 械	 → 	→	→	中国向けが受注をけん引、欧米・国内向けも回復基調
民生用電器部品	 → 	→	→	エアコンは、換気機能を備えた製品の投入で前年をやや上回る
自動車部品	 → 	→	↗	半導体不足の影響が拡大、完成車メーカーは減産を強いられる
二輪車部品	 → 	→	↗	国内や北米向け完成車が堅調で、部品受注も高水準
建 設	 → 	→	→	緊縮財政で公的投資は減少、民間工事も低調
住 宅	 → 	→	→	着工戸数は前年を上回るが、受注は弱含みで楽観視できず
大型小売店	 → 	→	↗	百貨店は落ち込んだ前年の反動で増加、総合スーパーは堅調
自動車販売	 → 	→	↗	例年並みの販売台数を見込むが、供給面で懸念残る
物 流	 → 	→	→	トラック輸送量は前年をやや上回る見通し
情報サービス	 → 	→	→	IT投資の機運が高まり、売上高は堅調に推移
人材派遣	 → 	→	→	低水準だが製造業では派遣需要が徐々に回復
観光・レジャー	 → 	→	↗	県民向けの旅行割引で前年を上回るが、経営的には苦境が続く
外 食	 → 	→	→	緊急事態宣言が発出された前年よりは改善するが、依然低調

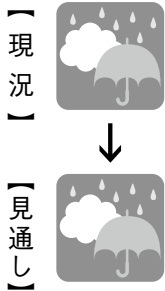
表の見方

業 界 天 気				売 上 高	
	好 調		低 調	↗	非常に増加 (+10%以上)
	順 調		不 調	↗	増 加 (+3~+9%)
	普 通			→	横 ば い (+2~▲2%)
				↘	減 少 (▲3~▲9%)
				↘	非常に減少 (▲10%以上)

主要業種景況見通し

製紙

トイレ紙は、家庭用は底堅いものの、業務用は低迷が続く



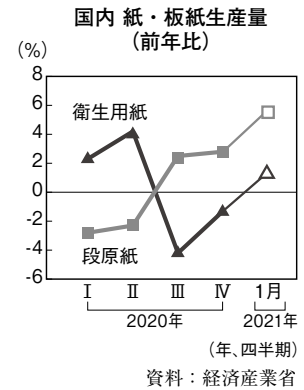
【4-6月期売上高】

前年同期比 1-3月期比



【1-3月期】トイレ紙の生産量は、緊急事態宣言で量販店などが在庫確保に動いたことで年初は荷動きが回復したものの、2月は反動もあって落ち込み、全体では特需のあった前年を下回った。段ボール原紙の生産量は、経済活動の再開による反動増もあり、堅調に推移した。

【4-6月期】トイレ紙の生産量は、家庭用需要が底堅いものの、商業施設向けなど業務用は引き続き低調に推移し、全体では特需のあった前年を下回る見通し。段ボール原紙は、巣ごもり消費で食品向けや通販・宅配向けが好調に推移するほか、業務用も回復基調にあり、全体の生産量は、コロナ下で落ち込んだ前年を上回る見通し。



操業度	需給バランス	製品在庫水準	原材料価格	製品価格	受注残
89~80%	均衡	適正	横ばい	横ばい	0.1~1.0ヵ月

食品・飲料/製茶

内食需要は旺盛だが、売上高は特需のあった前年をやや下回る



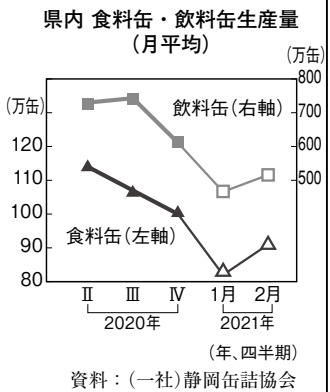
【4-6月期売上高】

前年同期比 1-3月期比



【1-3月期】食品・飲料：県内食料缶メーカーの売上高は前年をわずかに下回った模様。飲料缶類の生産量は、小型缶需要が低調で前年実績を下回った。製茶：製茶問屋の売上高は、贈答需要が低調だったが、問屋間売買が行われ、前年をわずかながら上回った模様。

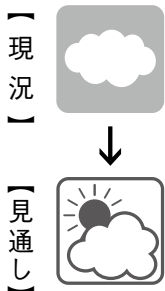
【4-6月期】食品・飲料：県内の食料缶メーカーの売上高は、前年をやや下回る見通し。内食需要は旺盛であるものの、巣ごもり需要で好調だった前年実績には届かない模様。飲料缶類の生産量は、低調だった前年をわずかながら上回る見通し。製茶：製茶問屋の売上高は、コロナ禍で低水準だった前年実績をやや上回る模様。



操業度	需給バランス	製品在庫水準	原材料価格	製品価格	受注残
100~90%	均衡	適正	横ばい	横ばい	0.1~1.0ヵ月

工作機械

中国向けが受注をけん引、欧米・国内向けも回復基調



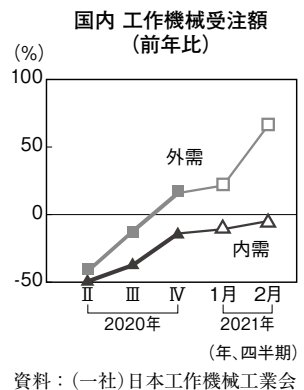
【4-6月期売上高】

前年同期比 1-3月期比



【1-3月期】全国および県内の受注額は、前年を上回った模様。外需は、昨年以降、盛況な中国向けが一段と伸長、欧米向けもコロナ以前の水準まで回復した。内需は、外需に比べ回復度合いは低いが、メインの自動車関連が前年並みまで受注が戻ったとみられる。

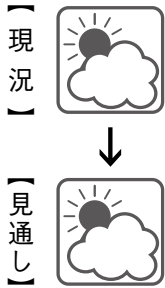
【4-6月期】全国および県内の受注額は、前年を上回る見通し。中国向けが引き続きけん引するほか、欧米や国内でも製造業の設備投資マインドが上向いており、コロナで先送りされてきた案件が動き出す見込み。加えて、世界的な半導体不足の懸念拡大により、発注が前倒しになっていることも追い風に働きそう。



操業度	需給バランス	製品在庫水準	原材料価格	製品価格	受注残
89~80%	均衡	適正	横ばい	横ばい	1.0~8.2ヵ月

民生用電器部品

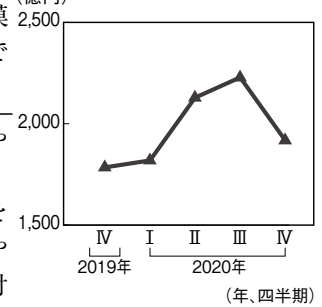
エアコンは、換気機能を備えた製品の投入で前年をやや上回る



【1-3月期】県内の家庭用エアコンの出荷台数は、厳冬が続いた北日本を中心に暖房器具の需要が拡大し、消費増税後の反動減で低調だった前年を+10%前後上回った模様。冷蔵庫や洗濯機の出荷台数も、増税後に落ち込んでいた前年水準をやや上回って推移した。

【4-6月期】県内の家庭用エアコンの出荷台数は、換気や空気清浄機能を充実させたモデルへの買い替えが進み、前年をやや上回る見通し。業務用エアコンも換気機能を備えた新製品の投入で、国内・海外向けとも前年をやや上回る見込み。一方、冷蔵庫や洗濯機は、特別定額給付金の支給などで高水準だった前年をやや下回る模様。

国内 家庭用電気機器出荷額 (月平均)



資料：経済産業省

【4-6月期売上高】

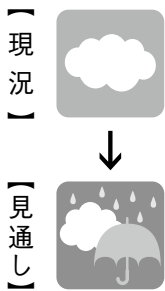
前年同期比 1-3月期比

→	→
---	---

操業度	需給バランス	製品在庫水準	原材料価格	製品価格	受注残
100~90%	需要超過	適正	上昇	横ばい	1.0~3.0ヵ月

自動車部品

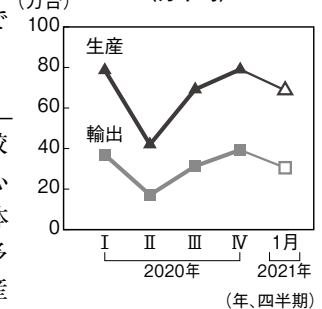
半導体不足の影響が拡大、完成車メーカーは減産を強いられる



【1-3月期】全国の自動車生産台数は、前年を▲1割強下回って推移した模様。新型車を中心に内需は旺盛だが、世界的な半導体不足の影響で、完成車メーカーの一部で生産調整が実施された。県内部品メーカーの生産量は、おおむね前年をやや下回って推移した模様。

【4-6月期】全国の自動車生産台数は、1~3月期と比較して▲2割程度下回って推移する見通し。新型車を中心に内需は堅調だが、世界的な半導体不足に、国内半導体生産メーカーの工場火災が重なり、完成車メーカーの多くが減産を強いられると予想。県内部品メーカーの生産量は、登録車・軽関連ともに前年を下回る見込み。

国内 自動車生産・輸出台数 (月平均)



資料：(一社)日本自動車工業会

【4-6月期売上高】

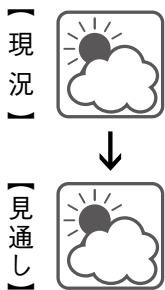
前年同期比 1-3月期比

→	↓
---	---

操業度	需給バランス	製品在庫水準	原材料価格	製品価格	受注残
89~80%	需要超過	適正	横ばい	横ばい	0.1~2.0ヵ月

二輪車部品

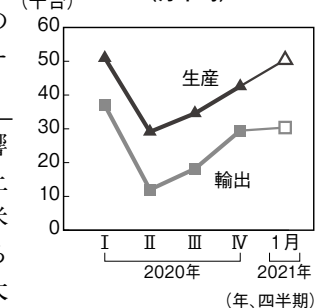
国内や北米向け完成車が堅調で、部品受注も高水準



【1-3月期】全国の完成車生産台数は、前年比+1割程度上回って推移した模様。インドネシアなど一部のアジア諸国では新型コロナウイルスの影響が色濃く残るものの、国内の通勤需要や北米向け大型二輪が堅調に推移。各部品メーカーの受注量も例年並み以上の水準に回復した様子。

【4-6月期】全国の完成車生産台数は、新型コロナウイルスの影響で生産活動が一時停止した前年と比較して+5割程度上回って推移する見通し。国内向け通勤用原付二種や北米向け大型二輪が好調に推移し、フル稼働での生産となる見込み。県内二輪車部品メーカーの受注量も、前年を大きく上回る水準で推移する見込み。

国内 二輪車生産・輸出台数 (月平均)



資料：(一社)日本自動車工業会

【4-6月期売上高】

前年同期比 1-3月期比

→	→
---	---

操業度	需給バランス	製品在庫水準	原材料価格	製品価格	受注残
100~90%	需要超過	適正	横ばい	横ばい	0.5~1.5ヵ月

建設

緊縮財政で公的投資は減少、民間工事も低調

【現況】

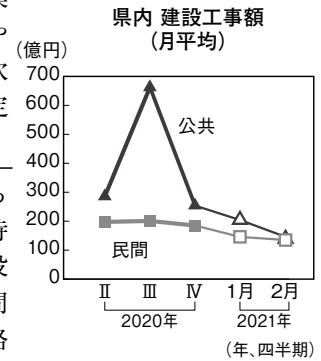


【見通し】



【1-3月期】県内の公共工事契約高は、前年を下回った模様。工事の平準化と経済対策を目的に上期の発注を増やした反動で、国、県、市町ともに前年割れ。国の第3次補正による土木工事伸びなかった。民間の工事費予定額も設備投資意欲が回復せず、前年に届かなかった。

【4-6月期】県内の公共工事契約高は、前年をやや下回る見通し。国の補正予算による防災・減災の土木工事に期待がかかるが、コロナ下の緊縮予算の中、県や市町の建築投資は限定的。今期も前倒し発注は継続される見込み。民間の工事費予定額は、前年を下回る見通し。設備投資も本格的な回復とはいえ、全体的に低調に推移する見込み。



【4-6月期売上高】

前年同期比 1-3月期比



操業度	需給バランス	製品在庫水準	原材料価格	製品価格	受注残
89~80%	均衡	適正	横ばい	横ばい	1.2~11.3ヵ月

住宅

着工戸数は前年を上回るが、受注は弱含みで楽観視できず

【現況】

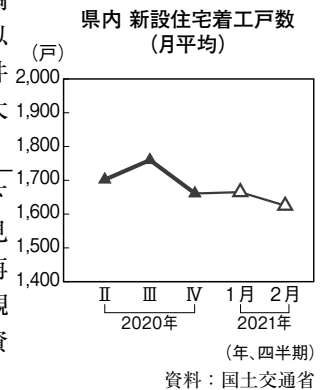


【見通し】



【1-3月期】県内の新設住宅着工戸数は、増税後で低調だった前年水準をやや上回った模様。持家は、昨夏以降、客足が戻りつつあり、大手ハウスメーカーの受注件数も回復傾向が続く堅調だった。分譲は、西部地区で大規模マンションの着工があったため大幅に増加した。

【4-6月期】県内の新設住宅着工戸数は、緊急事態宣言下で契約や着工に支障をきたしていた前年水準を上回る見通し。ただし、回復傾向にあった受注件数は、感染が再拡大した1月以降弱含んで推移しており、先行きは楽観視できない。持家、分譲は堅調だが、貸家は不動産投資への追い風要因なく、引き続き低調に推移する見通し。



【4-6月期売上高】

前年同期比 1-3月期比



操業度	需給バランス	製品在庫水準	原材料価格	製品価格	受注残
89~80%	均衡	適正	横ばい	横ばい	2.0~5.9ヵ月

大型小売店

百貨店は落ち込んだ前年の反動で増加、総合スーパーは堅調

【現況】

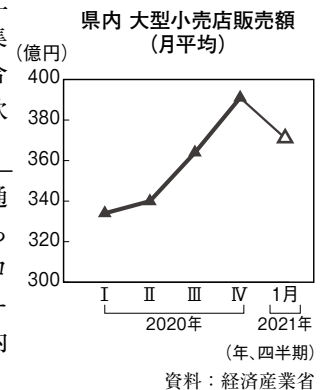


【見通し】



【1-3月期】県内大型小売店の販売額は前年をやや上回った。百貨店は来店客の密集を防ぐため、年始商戦で集客策を講じられず、前年実績を割り込んで推移した。総合スーパーは、内食需要の拡大を背景に販売構成比の高い飲食料品が堅調で、全体の売上も前年をやや上回った。

【4-6月期】県内大型小売店の販売額は前年を上回る見通し。百貨店は、緊急事態宣言の発出で臨時休業を強いられ、過去最低水準に落ち込んだ前年こそ上回るが、コロナ感染拡大前の水準には届かない見通し。総合スーパーは、衣料品が伸び悩むとみられるものの、飲食料品が内食需要の高まりで引き続き堅調に推移する見込み。



【4-6月期売上高】

前年同期比 1-3月期比



操業度	需給バランス	製品在庫水準	原材料価格	製品価格	受注残
—	供給超過	—	横ばい	横ばい	—

自動車販売

例年並みの販売台数を見込むが、供給面で懸念残る

【現況】

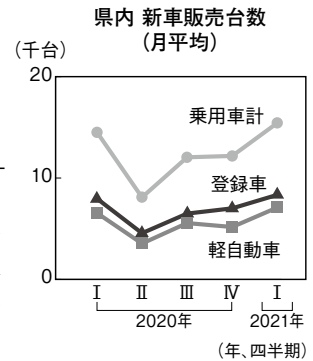


【見通し】



【1-3月期】県内の新車販売台数は、前年度の消費増税や新型コロナウイルス感染拡大に伴う販売減少の反動で、前年比+6.2%と増加した。大々的な販促イベントは開催できなかったが、感染者数が減少した2月以降、期末セールは盛り上がりを見せた。

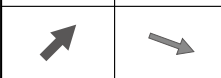
【4-6月期】県内の新車販売台数は、前年を大きく上回って推移する見通し。新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の影響で来店客が激減した昨年と比べ、今年は例年並みの販売台数を見込む。ただし、自動車向け半導体不足が世界的に拡大しており、一部車種では注文分を確保できず、納期の長期化や商機逸失の懸念もある。



資料：(一社)日本自動車販売協会連合会静岡県支部
(一社)全国軽自動車協会連合会静岡事務所

【4-6月期売上高】

前年同期比 1-3月期比



操業度	需給バランス	製品在庫水準	原材料価格	製品価格	受注残
100~90%	需要超過	適正	横ばい	横ばい	1.6~3.0カ月

物流

トラック輸送量は前年をやや上回る見通し

【現況】

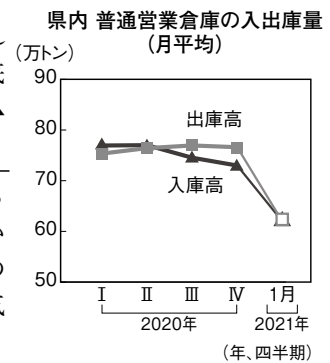


【見通し】



【1-3月期】県内のトラック輸送量は、輸送用機器や紙・パルプの荷動きが低調で、前年をやや下回ったとみられる。普通倉庫の入出庫高は、電気機械などの荷動きは底堅く推移したものの、鉄鋼や食料品が低調で、前年を▲5%程度下回った模様。

【4-6月期】県内のトラック輸送量は、前年をやや上回って推移する見通し。食品や飲料のほか、ウエートの高い電気機械などが堅調に推移するとみられる。普通倉庫の入出庫高は、半導体不足による輸送用機器への影響は気になりだが、食品・飲料などの荷動きに期待がかけられ、前年水準をやや上回って推移すると予想される。



資料：静岡県倉庫協会

【4-6月期売上高】

前年同期比 1-3月期比



操業度	需給バランス	製品在庫水準	原材料価格	製品価格	受注残
89~80%	供給超過	—	上昇	横ばい	—

情報サービス

IT投資の機運が高まり、売上高は堅調に推移

【現況】

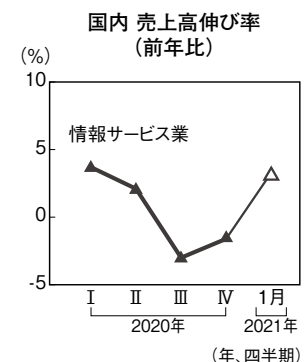


【見通し】



【1-3月期】全国および県内の売上高は、前年並みで推移した模様。営業活動の制限やユーザーの業績悪化を受け、主力のソフトウェア開発で一部案件が滞ったが、IT投資の機運が高まっていることに加え、GIGAスクール構想関連の受注などもあり堅調に推移した。

【4-6月期】全国および県内の売上高は、前年並みで推移する見通し。コロナ下でもデジタル化需要は底堅く、一定の受注は確保できるとみられる。4月に入り、東京などに対してまん延防止等重点措置が適用されたが、首都圏における案件への影響は限定的で、引き続き受注の積上げが期待される。



資料：経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」

【4-6月期売上高】

前年同期比 1-3月期比



操業度	需給バランス	製品在庫水準	原材料価格	製品価格	受注残
100~90%	均衡	適正	横ばい	横ばい	—

人材派遣

低水準だが製造業では派遣需要が徐々に回復

【現況】



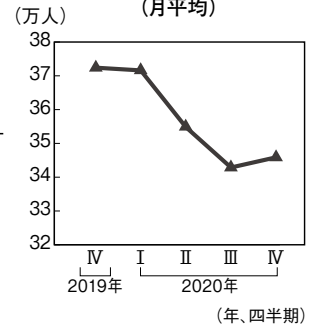
【見通し】



【1-3月期】 県内の派遣社員の実稼働者総数は、前年比▲5%程度下回って推移した模様。製造業やサービス業では、前年比▲5~10%下回って推移したとみられる。一方、倉庫業では、通信販売の増加を背景に梱包や検品などを行う派遣社員の需要が高止まりした。

【4-6月期】 県内の派遣社員の実稼働者総数は、コロナの影響を大きく受けて低水準だった前年をやや上回る見通し。製造業では、輸送用機器や電気機械などを中心に派遣需要が少しずつ回復していくとみられる。また、雇用調整助成金の対応事務やワクチン接種の受付事務、コールセンターなど官公庁関連の需要も期待される。

全国 派遣社員の実稼働者数 (月平均)



資料：(一社)日本人材派遣協会

【4-6月期売上高】

前年同期比 1-3月期比



操業度	需給バランス	製品在庫水準	原材料価格	製品価格	受注残
79~70%	供給超過	—	横ばい	横ばい	—

観光・レジャー

県民向けの旅行割引で前年を上回るが、経営的には苦境が続く

【現況】



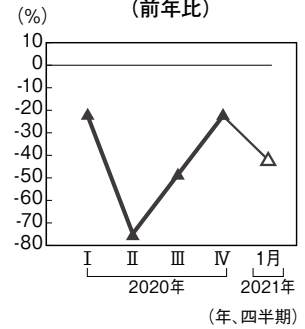
【見通し】



【1-3月期】 県内主要旅館の総売上高は、前年を大きく下回った模様。「Go To トラベル」の停止で旅行機運が後退し、緊急事態宣言がダメ押しとなった。3月8日から「バイ・シズオカ」キャンペーンが始まるも、県民が対象のため押し上げ効果は限定的なものにとどまった。

【4-6月期】 県内主要旅館の売上高は、前年を上回る見通し。「バイ・シズオカ」など、県民向けの旅行割引で需要は回復するものの、県外からの集客に苦戦するためコロナ前の水準には届かない模様。観光客減少の長期化で採算割れが続いている施設が多く、コロナの収束を待たずに事業継続を断念する施設が出てきそう。

県内 宿泊者数 (前年比)



資料：観光庁

【4-6月期売上高】

前年同期比 1-3月期比



操業度	需給バランス	製品在庫水準	原材料価格	製品価格	受注残
—	供給超過	—	横ばい	横ばい	—

外食

緊急事態宣言が発出された前年よりは改善するが、依然低調

【現況】



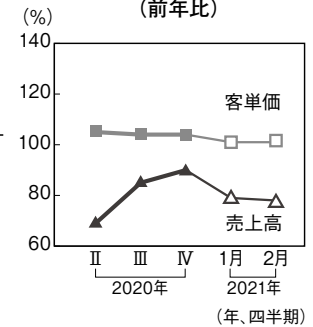
【見通し】



【1-3月期】 1~3月の県内主要外食店の売上高は、前年を▲10~20%下回った。新年会やイベントの中止に加え、依然として外出を自粛する人が多く、売上高、来客数ともに大幅に減少。コロナの長期化で休廃業を決断する飲食店が散見された。

【4-6月期】 主要外食店の売上高は、前年をやや上回る見通し。コロナの影響で売上高、来客数は依然として低調に推移すると予想されるが、緊急事態宣言で営業自粛となった前年よりは改善するとみられる。ファストフード店を中心に、テイクアウトや宅配サービスなどは引き続き堅調に推移する見込み。

全国 外食売上高・客単価 (前年比)



資料：(一社)日本フードサービス協会

【4-6月期売上高】

前年同期比 1-3月期比



操業度	需給バランス	製品在庫水準	原材料価格	製品価格	受注残
—	供給超過	—	横ばい	横ばい	—

昇給を見送る企業が増加、非製造業で厳しさ目立つ

県内企業に、今年度の昇給（賃上げ）に対する方針を聞いたところ、昇給を実施する（「昨年より高い昇給」「昨年並みの昇給」「昨年より低い昇給」の合計）と答えた企業は74.7%で、昨年比▲2.4ポイント、コロナ前の一昨年比では▲13.1ポイントの下落となった（図表）。一方、「昇給見送り」と答えた企業は12.2%と、昨年比+7.3ポイント増加している。

昇給実施企業の割合を業種別にみると、製造業で79.4%（前回比▲3.0ポイント）、非製造業で70.8%（同▲1.4ポイント）と、いずれも低下した。製造業では、「輸送用機械器具」で昨年並み以上の昇給を実施する企業が多く、「昨年より高い昇給」との回答が2割を超えた。一方、非製造業では、「建設業」（87.5%）で昇給を実施する企業が目立ったが、「ホテル・旅館業」は35.7%にとどまり、「昇給見送り（昇給なし）」との回答が4割以上に達した。

